

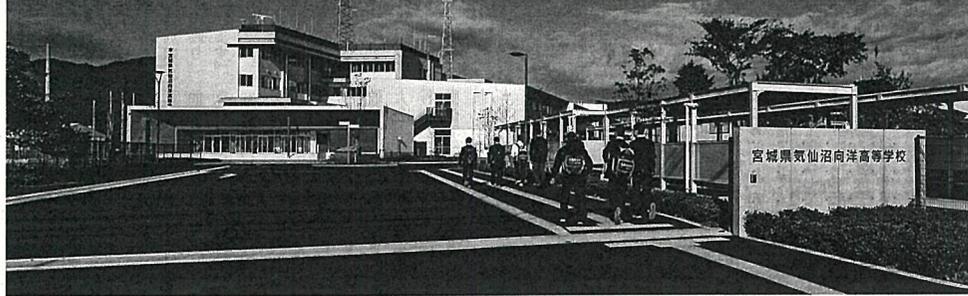


陸水

第25号

発行日
令和7年3月1日

編集・発行所
宮城県気仙沼向洋高等学校同窓会
宮城県気仙沼市長城牧通78番地
電話 (0226) 27-2311



今年の干支は「巳年」でありま
す。巳年は脱皮する蛇のイメージ
から「復活と再生」を意味するそ
うです。

また、植物に種子がではじめ
る時期、次の生命が誕生する時期
など、新しい事が始まる年になる
とも言われております。

同窓生諸兄にとりまして新しい
挑戦や変化に対して、前向きな姿
勢で幸せをつかむ年になりますよ
う、ご祈念申し上げます。

昨年7月6日に2024年度気

仙沼向洋高等学校同窓会総会
に白幡校長先生と同窓会役員4名
の計5名にて参加させていただきました。
総会後の懇親会は、気仙
沼高校との合同懇親会となってお
り、出身高校の別無く誠に盛大に
執り行われ、大変参考になりました。
また、懇親会終了後に高橋義
勝 同窓会会長をはじめ、同窓
生諸兄と非常に有意義な時間を過
ごすことができましたことを報告
させていただきます。

翌週の7月13日に令和6年度気
仙沼向洋高校同窓会総会がゲスト
ハウスアバンで開催され44名の
同窓生の参加を頂き盛会裏に開催
されました事を報告させていた
だきます。

総会担当のラグビー部OB会、
小野忠夫OB会長をはじめラグ
ビー部OB諸兄にはスムーズな総
会及び懇親会の進行をして頂き感
謝申し上げます。

11月3日文化の日に第4回親睦
パークゴルフ大会を、旧気仙沼向
洋高校グラウンド跡地に藤田林実
行委員長主導のもと39名の参加を
頂き、同窓生の親睦を深める事が
できました。

皆様ご周知の事ではありませんが、
近年は地球温暖化に伴う気候変動
や異常気象、台風や地震といった
災害など、予測困難な事象が各地
で次々と起こっております。

当気仙沼地方につきましても基
幹産業でありまして水産業におきま
して、大きく変化しております。

昨年度の生鮮カツオの水揚げは日
本一となりましたが、かつて本州
一位の水揚げを誇った秋刀魚は激
減し、秋鮭の水揚げなども皆無に
等しい状況であります。水産加工
業やそれを支える気仙沼の地場産
業は非常に厳しい状況になってき
ております。

また、2023年度の気仙沼市
の出生数は、200人割れの19
0人でした。この数字から推測し
ますと16年後の気仙沼地区での高
校入学者は190人程度となりま
す。

先行きが不透明で大変な時代に
なるものと思いますが、地域に愛
され信頼される向洋高校、向洋高
校同窓会でありたいと強く願いま
す。

結びに、同窓生の皆様方のご健
勝でのご活躍と、同窓会事業への
ご支援、ご協力を衷心よりお願い
申し上げます、ご挨拶とさせて
いただきます。



変化する時代への対応

同窓会長 守屋 守昭

学校便り

情報海洋科海洋類型

あこがれのハワイ航路 情報海洋科海洋類型 廣木 裕

平成30年を最後に新型コロナウィルス感染症や入国規制の強化に伴い、国内寄港で実施していた宮城丸の長期航海実習ですが、6年ぶりにハワイ・ホノルル港への寄港および上陸しての現地研修を行うことができました。実習生にとって、まぐろ延縄実習および外地研修を経験できたことは、喜びもひとしおでありました。なお、次年度は新たな寄港地も検討されておりますので、安全で実りの多い実習にするためにも同窓生の先輩方のお力添えをお願いしたいと思っております。



操業実習の様子 (トンボの漁獲、帰港後S科で缶詰に加工)

今後地域の水産・海洋関連産業の担い手となる人材の育成に努めますので、引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

ホノルルでの外地研修 (ダイヤモンドヘッドを背に)

産業経済科

令和6年度も産業経済科は新しいことに挑戦しました!

産業経済科 油谷弘毅

2年生では、情報海洋科の仲間が宮城丸で漁獲したまぐろ(ピンナガ)を使った油漬け実習を行いました。宮城丸のまぐろを使った実習は本校の長い歴史の中でも初めてのことです。事前学習として出港式に参加(震災後初)、解体前には漁獲の様子を動画で学びました。ラベルデザイン実習では製品の持つストーリー性を意識させました。



まぐろ油漬け実習

3年生は各生徒が課題を設定し、課題研究を進めました。先輩から続くホヤ殻の有効利用をテーマにした班は、ホヤ殻色素の抽出法を開発し、石巻専修大学と連携してその機能性を検証しました。この成果は全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会において優秀賞を受賞しました。この他にも、地域の伝統芸能や震災、戦争の記憶の伝承や海洋ゴミ、未利用水物の利用、学校給食、介護食の開発などテーマは多岐に渡りました。日々の学習で得た知識技術を元に、生徒それぞれが自らの視点で見つめ、果敢に挑戦する姿がとても印象的な1年でした。今後も同窓生に皆様には報道等を通して生徒の活躍を報告いたします。引き続きよろしくお願いたします。



研究発表全国大会「優秀賞」受賞生徒達

情報海洋科情報電子類型

社会のニーズに対応できる人材の育成

情報海洋科情報電子類型 中野渡 純也

同窓会の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。

今年も本校の施設設備を活用した授業や実習や、出前授業や企業見学などのキャリア教育の諸行事につきまして、多くの関係機関のご協力をいただき実施することができました。これらの活動を通し、生徒の知識技術の定着、進路意識の向上や資格取得に繋がりました。今後も時代の変化に目を配り、社会のニーズに対応できる人材の育成という本科の目的に沿った「学びの場」を提供していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



出前授業 (情報海洋科1年、情報電子類型2、3年) 宇宙技術開発株式会社様 古野電気株式会社様



出前授業 高所作業車乗車体験 (情報電子類型1、2年) NTT-ME様

機械技術科

気仙沼の未来

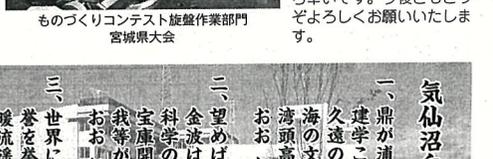
機械技術科 武田 修司

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援をいただき誠に感謝申し上げます。今年度は多くの同窓生が、本校の技術支援プログラムに協力してくれました。学科や部活で参加している競技大会(旋盤、溶接、メカトロニクスなど)では、参加する生徒たちに実践的な指導やアドバタイズをさせていただきました。また、自動車工世界4位の村上選手を含め、機械技術科出身の技能五輪選手たちが一堂に会し、デモや実技指導を通して、在校生たちに夢を与えてくれました。



宮城県知事表敬訪問

彼ら高校生の未来は、気仙沼の未来です。これからも同窓生、学校が一つになっで大切に育てていきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



ものづくりコンテスト旋盤作業部門 宮城県大会

同窓会会報「陸水」25号の発行にあたり、一言お礼申し上げます。この度は校務ご多用のところ白幡校長先生をはじめ関係の先生方、同窓会役員、同窓生に大変感謝申し上げます。今年も同窓会活動に携わることなく、各行事を進めさせていただきました。特に同窓会総会においてはラグビー部OB会の方々にお世話をしていただき、盛大に実施することができました。同窓会親睦パークゴルフ大会も多くの先輩方のご協力を得て無事に開催いたしましたことにも大変感謝申し上げます。引き続き同窓会活動の記録として「陸水」を発行してまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたいたします。同窓会会報「陸水」編集委員会

気仙沼向洋高校校歌

二、鼎が浦に生いたちて
建学ここに幾星霜
久遠の歴史固めつづ
海の文化の象徴と
海頭高く輝ける
おお 気仙沼向洋高

三、望めば遠く太平洋
金波は躍る海の幸
科学の力傾けて
宝庫開かん 使命こそ
我等が担う誇りなる
おお 気仙沼向洋高

三、世界にのびく 水産の
譽を捧げん我等なり
盛り上り来る 八百湖の
高鳴るごどく 讃えなん
おお 気仙沼向洋高

